

# いのちと健康を守る活動

## ジョジョのクリニック報告より

2012年8-9月分

CMIPエリア対象月額約5万円(ジョジョさん給与を含む)の使途、患者支援報告です。引き続きジョジョさんの事情(夫の看病)で、報告が遅れています。

CMIP クリニック 対応患者	風邪、インフルエンザ、下痢など、合計 29 名に、ハーブ薬他の薬を処方。
巡回診療	8/12(ラムリフェー) 歯科診療のみ。 12 歳から 56 歳まで 25 名受診。
特別支援	8/3 腸チフスのハイスクール奨学生 ゲイマリの入院支援。
研修 (写真参照)	① 8/18-19 サムラングでハーブ薬の作り方研修。ルタイ、アトモロック、ゴメロ等から 20 名参加。 ② 9/17-19 ジェネラルサントス市内の CMIP 研修所でハーブ薬の作り方とマッサージ講習。8 月研修とほぼ同じ地域から 20 名参加。

\*山岳部の歯科治療はすべて抜歯です。10 代の抜歯患者も多く、ボランティアで治療に当たるマドリッド歯科医師夫妻も各会場で歯ブラシを配布して歯磨き指導をしていますが、全員にいきわたるだけの歯ブラシがありません。ホテル名入りで結構ですので、寄付をおねがい致します。



サムラングの研修で、  
熱心にメモをとる参加者



二日間の研修で完成した  
20 袋のターメリック



CMIP 研修所のターメリック作り(右端は攪拌を手伝うエドウィン神父)。この研修は、各村の指導者研修も兼ねていて、受講者はいずれも真剣に、免疫力を高めるターメリック薬、風邪に効くラグンディ薬作りに取り組んだ。

## 心臓病のヘルメニアからの手紙

HANDSの皆様、この度、ジョジョさんを通じて、長年の奨学金や治療費支援への感謝をお伝えする機会をいただきました。私は妊娠7カ月で、3月には結婚の予定です。出産は大変危険だと言われている私の妊娠に驚かれたことと思いますが、この決断に悔いはありません。長い間のご支援に対し、言葉ではとても言い尽くせぬほど感謝しています。ありがとうございました！ 2012年12月11日 ヘルメニア・オビデンシオ

ヘルメニアは 2002 年、ハイスクール在学中(20 歳)に心臓病が悪化、松尾基金他会員のご協力で、2 年後にマニラ心臓センターで弁膜症の手術を受けました。その後、カレッジに進学したものの体力面の不安から中退、ミアソンの寮母になりました。手術後も毎年マニラでの検診が必要で、特別支援を継続、今年度分もマニラでの定期健診や医薬品代を支援しました。出産は危険という主治医の判断をジョジョは伝え、説得しましたが、意志は固く、本人の選択を尊重したとのことでした。

71 号 P3 で報告の精神疾患のエドナとともに、奨学生医療特別支援対象だった二人について、近い将来よい報告をお届けできたらと思います。(山崎)

## 辺境の集落ブラコンで進む母親たちの組織化 -PIHS の活動報告より-

3年ほど前から、PIHSを通じて巡回診療、薬草活用研修等支援しているサランガニ州アラベル町カウス・バランガイ。その中で、国道から遠く離れたブラコンは、大人の識字率が22%、学校付属の就学前施設が遠くて、義務化された4-5歳児の教育も遅れています。PIHSの働きかけに村役場や州の福祉局も関心を示していますが、当面、PIHSによる大人及び就学前児童の識字教室や、給食支援、保健研修が必要で、まずは幼児をもつ母親たちの組織化が始まりました。



少しは増えたかな？ 栄養指導、給食支援活動は体重測定から始まります。(今年の PIHS 保健事業は、当団体 FY 基金を充当しています)